



カテゴリ: 地域活性化

2024年10月10日
第24044号

JAL、APUの学生向けに地域活性化活動に関するセミナーを開催

～地域の観光課題解決に向けた学習プログラム「New Tourism Hub」へサポート企業として参画～

JALは、大分地区および大阪地区における社会課題、地域課題解決に資する新たな人流、物流の創出を目的に、オリックス不動産株式会社(以下「オリックス不動産」)と2024年7月1日に連携協定を締結しました。

大分地区においては、オリックス不動産と立命館アジア太平洋大学(以下「APU」)(※)、杉乃井ホテル&リゾートが、将来の観光産業を担う人材の育成と地域活性化を目的に、地域の観光課題解決を学生とともに行う学習プログラム「New Tourism Hub」へサポート企業として参画します。その中でJALは、航空運送事業者として培ってきた知見、経験を活かした地域活性化における取り組みについてインプットセミナーを実施し、課題解決に挑む学生の皆さんを支援します。

JALは、これからも地域の皆さまとの連携を強化し、さまざまな取り組みを通じて、地域の魅力を発信するとともに地域活性化に貢献してまいります。

※JALは、APUと別府市と産学官による連携協定を締結しています。

インプットセミナー実施内容

日時: 2024年10月11日(金) 18:00～21:00

会場: 立命館アジア太平洋大学 F棟 101教室

参加学生: 23名

登壇者: 日本航空株式会社 ソリューション営業推進部 企画グループ長 鳥井 大地

日本航空株式会社 JALふるさとアンバサダー(大分地区) 花島 良子

「New Tourism Hub」について

【概要】

オリックス不動産とAPU、杉乃井ホテル&リゾートとの産学連携の取り組みの一環で、APUの学生とともに地域・地域企業の観光課題の発見、解決を目指す問題解決型学習(PBL)プログラムです。企業や行政から持ち込まれる地域の観光課題の解決に向けて、観光関連企業の協力を得ながら学生ならではの多彩な感性や視点で解決策を考え、実装まで行います。

【目的】

- ・将来の観光産業や持続可能な地域づくりを担う人材の育成
- ・地域の新しい観光コンテンツの創出

【2024年度の取り組み】

秋に就航を目指す、大分空港と大分市を洋上で結ぶ超高速船「ホーバークラフト」を題材に、学生が企業の講義やサポートを受けながら船内で上映する映像を製作し実装まで行います。今年はサポート企業としてJAL、大分第一ホーバードライブ株式会社、株式会社JTBが参加し、各企業から学生に向けたインプットセミナーのほか、ホーバーターミナルや地域の現地調査、ワークショップ、プレゼンテーションなどを実施します。1チームに1名、各企業からメンターを派遣し、学生とともに7カ月間観光について学び、地域の新しい観光コンテンツの創出を目指します。ホーバークラフトでの上映は2025年2月の予定です。

以上